

No.19

領域：	パブリック		
テーマ：	若者雇用問題：若者と仕事を巡る問題の背景と解決策を探る		
担当者名：	前田正子		
開講時期：	前期 木曜 4・5・6 限	募集定員：	25 名
内容：	日本の若者雇用やニート・フリーター問題、女性の貧困、大卒無業や早期離職などの状況とその背景にあるもの、対策をめぐる処方箋などを探るとともに諸外国の状況や政策についても学ぶ。		
到達目標：	若者雇用の課題やそれへの処方箋は様々である。この分野における課題を各自設定し、それにたいしての処方箋を描くことが目標。また社会的課題として若者雇用を扱うだけでなく、履修者それぞれが仕事や働くことに関して自分なりの考えを培うことも目標である		
講義方法：	講義・フィールドワーク・グループワーク・発表会・レポート作成。履修者に各課題を与えて、それを発表してもらいます。履修者の発表が講義の中心となりますので、発表準備の負担は重いです。履修状況によっては試験を実施する可能性もあります。教科書の予習レポート提出の宿題が複数回あります。		
準備学習：	CUBE 図書館に雇用関連の図書が多く入っているため、それを見ておくこと。つまり、授業開始時には、自分なりに日本の若者雇用のなにかが問題かを話せるようにしておくこと。		
成績評価：	授業での発言・発表のレベル・最終成果物（レポートと最終発表会）判断 あまりに履修態度が低レベルの者には警告しますが、それでも改善が見られない場合は学期途中でも不可とします。		
欠席基準：	授業実施回数の 3 分の 1（端数は切り捨て）以上を欠席した場合は、単位を修得することができません。（「欠席」評価となります。）		
講義構成：	1 回目から 5 回目 日本の若者を巡る雇用の状況について学ぶ（この間に一回は施設見学）6 回目から 9 回目 日本の雇用支援の現状や雇用に課題を抱える人々の実態について学ぶ（この間に一回は施設見学）10 回目から 14 回 諸外国の若者の雇用支援の状況について学ぶ。15 回目最終発表会(外部評価者が来る可能性あり)		
履修条件：	履修条件： この課題の背景は多岐にわたっており、正解が簡単に出るものではない。自らにもかかわる問題として、履修者全員でともに学びあい、意見をだしあい、それぞれの回答を導き出すプロジェクトである。そのため、学習意欲と参加意識の高い学生のみ履修可。授業において課せられた発表だけでなく、積極的に発言し、授業の活性化に資することが必須。		
推奨科目：	推奨科目： 本来は経済学のみならず、社会保障制度の基礎が分かっていることが望ましい。そのため、前田が前期に行う「公共政策の実践」や後期のプロジェクトが推奨される。働くことについて考えるので、就職活動前に履修するとお得である。		
選考方法：	これまでの成績や履修態度などで選抜		
備考：			
説明会：	なし		